

募金の使われ方のひとつに「助成事業」があります

北区社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的に北区内で福祉活動をおこなうさまざまな団体の支援のための「助成事業」を行っています。この助成制度は、北区内で前年度に集められた「歳末たすけあい募金」を財源としていますので、北区の募金が北区の福祉に直接使われるしくみになっています。今年度、助成金を受けた70団体のうち2団体をご紹介します。

～「決め込まない」「あきらめない」生涯学習の場～

NPO法人 「勉強レストランそうなんだ!!」



代表の
福喜多アキコさん

何でも「できない」と決め込まずにやってみる。進み方が遅くても続けられれば確実に進歩するのだから、あきらめずに学び続けよう。「勉強レストランそうなんだ!!」は、主に知的障がいのある方のための生涯学習の場、そして地域を中心としたノーマライゼーション(障がいのある人もない人も共に活動する)を実現する場です。

主な活動内容は、学習支援と自立支援講座や年一回の成果発表会「そうなんだ祭」の開催。

学習支援は、個別指導や社会生活を意識したグループ学習などで行っています。自立支援講座は、学齢期を過ぎた知的障がいを持つ人が就労したり円滑に社会生活を送ったりするための講座と、それをサポートする家族や支援者のための実践的な講座を設けています。また、「そうなんだ祭」は、ここで学んだことや趣味などの成果を発表する場です。この他、パソコンの集中講座なども開いています。

そして今回、助成を受けて夏休みの8月初めに5日間開催したのが、特別支援学校・学級の児童・生徒を対象とした「夏の発見教室」です。将来教職を目指す大学生が中心となって、毎日、宿題の

～高齢者の孤独死や引きこもりを防ぐために～

桐ヶ丘27夢みら



代表の島崎清子さん

桐ヶ丘団地の真ん中にある「都営桐ヶ丘一丁目アパート27号棟」は、18階建て、2004世帯が暮らしています。今その住民の三分の二以上が高齢者世帯です。

昨年度、自治会で住民に対し、見守りや災害に関するさまざまなアンケート調査を行ったところ、「食事会やお茶会のような集まる機会ができれば参加したい」という世帯が約80ありました。そこで、主に高齢者の孤独死や引きこもりを防ぐために、27号

棟の有志が集まって今年の4月に発足したのが「桐ヶ丘27夢みら」というボランティアグループです。

活動は月に1回、団地の集会所を利用して、お茶会と食事会を交互に開催しています。月に1回でも集まる場所があることで、同じ団地に住む顔見知りが増え、日ごろの声かけがしやすくなり、住民同士のささえあいにつながるようになってきています。

今年も北区社会福祉協議会の助成を受け、大きなガス釜を購入することができました。食事会のときにお米がおいしく炊けるといっただけでも、参加者の皆さんの喜びは違います。本当に



スタッフのみなさん

ありがたいことだと思っていま

す。

今年も大きな震災が起き、災害時の声かけが大きな課題となり、難訓練も定期的に行いながら、



参加者が安心して楽しめる食事会とお茶会の活動をこれからも継続していきたいと思えます。



手伝いと、「水辺の生き物クイズ」「アルゴリズムって何?」「何の音か当ててみよう」など、毎回違うテーマで工夫を凝らした「発見授業」を行いました。

助成のおかげで会場を借りたり、DVDなどの教材を買ったり、指導にあたった大学生の交通費

などの費用を捻出することができました。本当にありがたいです。日々変化する社会の中で、障がいを持つ人が取り残されず自立の道を歩むために必要な支援を続けていきたいと思えます。皆さんぜひ一度、学習支援、自立支援講座にご参加ください。

自立支援講座の今後の予定

- 2012年1月22日(日)「知的な障害のある人々の就労を維持するには」
- 2012年3月18日(日)「話します自分の仕事のこと」

詳細、また、その他の活動等についてはHPをご覧ください。

<http://www.so-nanda.com>

区民まつりに 参加しました

北区社協は、10月1日(土)・2日(日)の2日間「ふるさと北区区民まつり」に参加しました。

今年、社協ブースでは、被災地の福祉施設支援を目的に「東日本大震災&三宅島支援チャリティマーケット」として、震災で大きな被害のあった、福島県、宮城県、岩手県と三宅島の障がいのある方が働く福祉施設などから買い取りした製品を販売しました。

当日は大変多くのおみなさまにお立ち寄りいただき、たくさんのお品物を購入していただきました。買い物を通じたチャリティにご協力いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

北区社協では今後もこうしたイベントを通じて、災害の復興支援を継続していきたいと思っております。

